



山下 純 仙台市議会議員（宮城野区）
市政報告 vol.11
 発行：市民フォーラム仙台
 青葉区国分町 3-7-1
 編集：山下 純

市民フォーラム仙台

市政レポート

2026 年
春号

街の声を市政に届けました。

令和 8 年第 1 回定例会では、市民の方々から寄せられたお声をもとに、物価高騰に直面する方々への生活支援や、最新技術を導入した浸水対策、そして消防団の活動環境改善などについて質問しました。どのテーマも「現場の声を政策に生かす」視点で、10 年間据え置かれた住宅扶助基準の是正や、女性や若手も活動しやすい消防団拠点の整備といった、市民一人ひとりの暮らしを支える取り組みにつなげました。これからも、みなさんの身近な声を市政に届けて、仙台をもっと暮らしやすい街にしていきたいと思えます。

TOPIX

この市政報告では、質問内容と市の答弁を、わかりやすくまとめています。詳細は中面と裏面をご覧ください。

一般質問

- 生活保護世帯への住宅補助の見直しについて
- 新技術を用いた防災環境都市づくりについて
- 廃棄物運搬の効率化と家電リサイクルの改善

R6年 決算予算審査委員会

- マンホールトイレの日常的な活用について
- 消防団活動の環境改善とデジタル化の推進
- 高断熱住宅（仙台健幸省エネ住宅）の普及促進

令和 8 年度 仙台市 重点施策

令和 8 年度 仙台市当初予算の概要

仙台市は以下の「3 つの柱」を軸に、次世代への投資と安心の基盤づくりに重点を置いています。

3つの柱

- こども・若者を育む
- 世界に誇れるまちを創る
- 共生のまちを築く



1,188 億円



**PROUD
SENDAI**

914 億円



1,938 億円

お問合せ

仙台市議会議員山下純事務所
 〒983-0838 仙台市宮城野区二の森 2-20 T.022-766-8147 F.022-766-8189

一般質問

今回の定例会では、「生活支援」「防災・環境」「地域コミュニティ」をテーマに質問しました。

生活保護世帯の支援については、10年間据え置かれた住宅扶助基準を現在の家賃相場に合わせて見直すよう強く求め、物価高騰に対し後追いではない先手の直接支援を国へも働きかけるよう提案しました。防災・環境面では、集中豪雨から街を守るために人の手に頼らず自動で作動する最新の止水板導入を求めたほか、廃棄物運搬の効率化や、申込者が殺到している省エネ住宅補助の枠拡大についても具体的な改善を促しました。また、消防団の器具置場へのエアコン設置やアプリ活用による負担

生活保護世帯への住宅扶助の基準見直しについて

一般質問

本市の住宅扶助基準額が約10年間据え置かれている一方、実際の家賃相場と大きく乖離している現状を指摘しました。物価高騰の影響もあり、生活の基盤となる住まいの支援を現状に合わせる必要があります。

これを踏まえて 市に質問

- 家賃相場と乖離している住宅扶助基準を見直すべきではないか。
- 物価高に対し、生活者の実情を迅速に国へ伝えて改善を提案すべきではないか。

この質問の POINT

- 基準の据え置き：単身上限3.7万円の基準が、約10年間変更されていない。
- 相場との乖離：駅近の相場は4～6万円で、現行基準では不足している。
- 支援の遅れ：物価高への加算は2026年10月まで待たねばならず、迅速さが欠けている。

この質問の ねらい

物価高の中で、生活に困窮している方々の住まいの権利を守り、制度を実情に即した内容へと改善することで、生活の安定を図ることを目指します。



新技術を用いた防災環境都市づくりについて

一般質問

近年、集中豪雨による浸水被害が多発しています。本市では止水板設置の補助を行っていますが、現在は手動による運用が中心です。より迅速かつ確実な対策のため、最新技術の導入を提案しました。

これを踏まえて 市に質問

- 設置が遅れるリスクがある手動式に対し、水位上昇に応じて自動で作動する「自動昇降式・フロート式止水板」を導入してはどうか。
- 浸水被害が懸念される地下施設など、重要な拠点への雨水流入を防ぐ仕組みを強化すべきではないか。

この質問の POINT

- 手動の限界：現状の手動式は、設置が遅れると浸水を防げないリスクがある。
- 他都市の成功例：自動でせり上がる新技術の導入により、地下浸水を防ぐ事例がある。

この質問の ねらい

人の手に頼り切らない新技術を活用することで、異常気象による浸水被害を未然に防ぎ、市民の命と財産を確実に守る体制を整えることです。

廃棄物運搬の効率化と家電リサイクルの改善

一般質問

産業廃棄物の運搬効率向上による環境負荷低減と、長期休暇時における家電リサイクル指定引取所の利便性向上について提案を行いました。



これを踏まえて 市に質問

- 運搬効率を上げ、CO2排出も抑制できる「積替保管許可制度」をもっと周知すべきではないか。
- 長期休暇時に家電引取所が搬入制限となることで生じる物流問題やサービス低下を解消するため、市が調整に入るべきではないか。

この質問の POINT

- 積替保管により廃棄物をまとめて運搬できれば、燃料代や人件費の削減に加え、排気ガスの排出も減らせる。
- 指定引取所の搬入制限は、市民サービスの低下や物流問題に大きく関わっている。

この質問の ねらい

物流の効率化と環境保護を両立させるとともに、市民がいつでも安心して不用品を処分できる円滑なリサイクル体制を確保することです。

軽減が予算化されたことを報告するとともに、避難所のマンホールトイレを運動会などの行事で日常的に活用する「生きた防災教育」の仕組みづくりなど、現場の声を形にする提案を行いました。これからも「誰も置き去りにしない社会」を目指し、市民の皆様の安心と暮らしの実感につながる市政のアップデートに全力を尽くします。

マンホールトイレの日常的な活用について

予算等審査特別委員会

全ての指定避難所への令和15年度の全指定避難所への整備完了に向けた着実な推進とともに、災害時だけでなく日常的に活用することで、防災意識を高める取り組みを提案しました。

これを踏まえて
市に質問

― 整備した後に「災害がなければ使われない」という形にするのではなく、地域の防災訓練や、例えば保護者がお子さんを見に来る学校の運動会など、日常的に人が集まる機会に実際に使用してもらう取り組みを提案できないか。

この質問の
POINT

― 令和15年までのマンホールトイレの整備計画費用として今議会に2,120万円が計上されている。
― ハード面の整備が進んでも、操作方法を知らなければ、いざという時に迅速に活用できないという懸念がある。

この質問の
ねらい

普段のイベント等で使い慣れることで、災害時の不安を解消し、市民の皆様の自助・共助の力を高める「生きた防災教育」につなげることです。



消防団活動の環境改善とデジタル化の推進

予算等審査特別委員会

私自身も所属する消防団の活動において、団員の負担を軽減し、誰もが活動しやすい環境を整えるための財源、スケジュールに関して質問しました。

これを踏まえて
市に質問

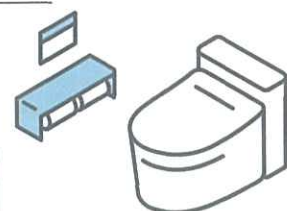
― 器具置場へのエアコン設置やトイレ洋式化など、女性や若年層も活動しやすい環境整備の進捗はどうか。
― 消防団アプリの活用により、点検報告などの事務負担をさらに軽減すべきではないか。

この質問の
POINT

― 消防団拠点の機能強化（冷暖房・トイレ改修等）に6,260万円の予算が確保された。
― 事務負担軽減のためのアプリ導入・活用に266万円が計上されている。

この質問の
ねらい

地域防災の要である消防団員の負担を軽減し、多様な人材が長く活躍し続けられる環境を整えることで、地域の守りをより強固にすることです。



高断熱住宅（せんだい健幸省エネ住宅）の普及促進

予算等審査特別委員会

脱炭素の推進と居住者の健康維持に資する高断熱住宅の普及を目的とした本市独自の支援策について、さらなる拡充を求めました。

これを踏まえて
市に質問

― 申込者が殺到している「せんだい健幸省エネ住宅補助金」について、募集枠の拡大と期間延長を行ってはどうか

この質問の
POINT

― 新築で最大310万円、リフォームで最大120万円という手厚い補助制度である。
― 募集がすぐに埋まってしまうほど人気が高く、市民の関心が非常に強い事業である。

この質問の
ねらい

より多くの市民が高断熱・省エネ住宅を選択できる環境を整えることで、家計の負担軽減、脱炭素社会の実現、そして市民の健康寿命の延伸を同時に図ることです。



ひとの力がまちを動かし、挑戦がひとを成長させる好循環へ

令和8年度の一般会計当初予算案は、7,306億円（前年度比+549億円）と、過去最大規模で編成されました。社会保障関係経費の増や公共施設の再整備などが主な要因ですが、市は以下の「3つの柱」を軸に、次世代への投資と安心の基盤づくりに重点を置いています。

予算の規模

市全体（全会計）：1兆3,405億円（前年度比+772億円）
一般会計：7,306億円（過去最大規模）

こども・若者を育む



1,188億円

子育てを社会全体でフルサポートし、
学びの環境の充実を図る。

新

小学校給食費の完全無償化 35億6,377万円

市立小学校の学校給食費を市が全額負担します。

新

第2子以降の保育料無償化 9億1,958万円

年齢制限等の条件を撤廃し、多子世帯を支援します。

拡

18歳未満の国民健康保険料の無償化 ※歳出予算なし

18歳までの均等割保険料の減免を拡充し、実質無償化を実現します。

拡

こども医療費助成の拡充 10億6,573万円

対象を18歳まで拡大し、500円の自己負担も廃止します。

世界に誇れるまちを創る



PROUD
SENDAI

914億円

強みを生かした成長と、
攻めの観光で世界から人を呼び込む

拡

漫画・アニメコンテンツを活用した誘客促進 6,036万円

ゆかりの作品を活用し、観光誘客と市内周遊を促進します。

拡

大河ドラマ誘致の推進 1,650万円

伊達政宗公の生涯を描く大河ドラマの放送を目指し、
機運醸成イベント等を実施します。

拡

起業家・スタートアップ支援

3億6,832万円

次世代のロールモデルとなる企業の発掘・育成を強化します。

共生のまちを築く



1,938億円

支えあう『ケアの視点』を広げ、
都市基盤の強靱化と安心を確保する

拡

下水道施設の計画的な改築・更新 110億753万円

老朽化した管路やポンプ場の更新・長寿命化を行い、都市基盤を
強化します。

拡

救急搬送体制の強化とドクターカー整備 8,352万円

小松島救急隊の新設準備や、オープン病院へのドクターカー整備に
向けた検討を進めます。

新

医療提供体制の調査検討

3億6,832万円

次期地域医療構想を見据え、適切な医療体制の確保に向けた分析を
行います。